

臨床研究情報

【研究課題名】

腎生検で診断の得られた希少 6 腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究

【研究機関】

日本医科大学付属病院ならびに日本腎病理協会のメンバーが所属する研究機関
代表施設: 日本医科大学 解析人体病理学教室

【研究責任者】

当院責任者 古賀 健一

研究代表者 清水 章 (日本医科大学 解析人体病理学教室)

【研究の目的】

希少 6 腎疾患[(Castleman 病・クロー深瀬症候群・TAFRO 症候群 / 原線維性糸球体腎炎・免疫タクトイド糸球体症 / IgA 沈着による膜性腎症 / 高リン脂質抗体症候群 / クリオグロブリン血症性糸球体腎炎 / Light chain proximal tubulopathy) 以下、希少 6 腎疾患とする]は症例数が少ないことから、臨床病理学的特徴の詳細が明らかになっていません。本申請研究は、各症例を日本腎病理協会の会員が持ち寄ることで、それぞれの疾患の特徴を病理学的に解析し、臨床所見との関連を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

対象は日本医科大学付属病院ならびに日本腎病理協会のメンバーが所属する研究機関にて、1991 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に腎疾患の診断目的のために腎生検を受けられ、希少 6 腎疾患と診断された患者さんです。病理診断に提供された患者さんの検体と臨床情報を用いて、希少 6 腎疾患の病理学的特徴を調査する研究で、光学顕微鏡や免疫蛍光染色所見と臨床症状の関連を検討します。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。
試料: 診断目的で採取された腎臓の生検病理組織情報: 年齢、性別、既往歴、家

族歴、腎機能、尿・血液検査項目、等

【個人情報の取り扱い】

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、あなた自身のプライバシーに関する秘密はすべて厳重に守られます。データは匿名化を行いますので、名前などの個人を特定できる情報が報告に当たって使用されることは一切ありません。

【外部への試料・情報の提供方法】

研究データは電子メールやインターネットを通じて、又は郵送やFAX等により共同で研究を実施している他の施設へ提供致します。その場合もデータは匿名化を行います。

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただ既にデータの解析が行われた場合や結果が公表された場合など、削除できない場合もあります。

この研究は国の定めた指針に従い、当院の医療倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

大阪赤十字病院 腎臓内科

〒543-8555大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

TEL 06-6774-5111 FAX 06-6774-5131

倫理審査委員会申請日 2023年 7月 26日